

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 福岡財務支局長

【提出日】 平成23年4月14日

【四半期会計期間】 第29期第3四半期(自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)

【会社名】 株式会社コスモス薬品

【英訳名】 COSMOS Pharmaceutical Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 宇野正晃

【本店の所在の場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 小野幸弘

【最寄りの連絡場所】 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目10番1号  
第一福岡ビルS館4階

【電話番号】 092 - 433 - 0660 (代表)

【事務連絡者氏名】 専務取締役管理本部長 小野幸弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

##### 連結経営指標等

回次	第28期 第3四半期 連結累計期間	第29期 第3四半期結 連結累計期間	第28期 第3四半期 連結会計期間	第29期 第3四半期 連結会計期間	第28期
会計期間	自 平成21年 6月1日 至 平成22年 2月28日	自 平成22年 6月1日 至 平成23年 2月28日	自 平成21年 12月1日 至 平成22年 2月28日	自 平成22年 12月1日 至 平成23年 2月28日	自 平成21年 6月1日 至 平成22年 5月31日
売上高 (百万円)	151,545	173,709	49,733	58,187	205,387
経常利益 (百万円)	6,586	7,932	1,710	2,478	8,802
四半期(当期)純利益 (百万円)	3,594	4,018	927	1,320	4,712
純資産額 (百万円)			23,290	27,972	24,409
総資産額 (百万円)			67,390	75,660	73,589
1株当たり純資産額 (円)			1,176.30	1,412.78	1,232.78
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	181.55	202.97	46.84	66.70	238.00
潜在株式調整後 1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)					
自己資本比率 (%)			34.6	37.0	33.2
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	205	5,317			7,734
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	3,282	5,842			4,505
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	546	3,060			1,349
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)			10,166	12,496	16,081
従業員数 (名)			1,527	1,549	1,670

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益につきましては、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 3 【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

## 4 【従業員の状況】

### (1) 連結会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(人)	1,549 (4,123)
---------	---------------

(注) 従業員数は就業人員であり、また従業員数の( )書は外数で、臨時雇用者の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

### (2) 提出会社の状況

平成23年2月28日現在

従業員数(人)	1,543 (4,081)
---------	---------------

(注) 従業員数は就業人員であり、また従業員数の( )書は外数で、臨時雇用者の当第3四半期会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【仕入及び販売の状況】

当社グループは単一セグメントであるため、仕入及び販売の実績は商品区分別により記載しております。

#### (1) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における商品区分別仕入実績の状況は、次のとおりであります。

区 分	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
医 薬 品	6,216	114.1
化 粧 品	5,579	107.5
雑 貨	8,405	111.4
一 般 食 品	25,788	119.7
そ の 他	896	156.4
合 計	46,887	116.3

(注) 上記金額は仕入価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

#### (2) 販売実績

##### 商品区分別販売実績

当第3四半期連結会計期間における商品区分別販売実績の状況は、次のとおりであります。

区 分	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
医 薬 品	9,977	113.0
化 粧 品	7,394	108.3
雑 貨	10,493	117.9
一 般 食 品	29,325	119.5
そ の 他	996	158.3
合 計	58,187	117.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 地域別販売実績

当第3四半期連結会計期間における地域別販売実績の状況は、次のとおりであります。

地 域	店舗数	金額(百万円)	前年同四半期比(%)
関 西 地 区	3	402	
中 国 地 区	32	4,973	131.1
四 国 地 区	35	5,447	126.1
九 州 地 区	318	47,364	113.8
合 計	388	58,187	117.0

- (注) 1 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。  
2 店舗数は平成23年2月28日現在であります。

## 2 【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

#### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

##### (1) 業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、円高や中東の政情不安による原油価格の高騰等の影響で、景気の下振れが懸念される厳しい経営環境となりました。小売業界におきましても、雇用情勢の悪化や所得の減少、将来に対する不安等の影響により、依然として消費マインドの冷え込みが続いております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。当第3四半期連結会計期間は、記録的な低温が続く厳しい寒さとなり、季節商材を中心に売上高は堅調に推移いたしました。

新規出店につきましては、九州地区に9店舗、中国地区に2店舗、四国地区に2店舗、合計13店舗を開設いたしました。これにより、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は388店舗となりました。また、28店舗の棚替・改装を行い、既存店の活性化を図ってまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間の売上高は581億87百万円（前年同四半期比17.0%増）、営業利益は22億50百万円（同59.2%増）、経常利益は24億78百万円（同44.9%増）、四半期純利益は13億20百万円（同42.4%増）となりました。

##### (2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末における総資産は756億60百万円となり、前連結会計年度末に比べて20億70百万円増加いたしました。この主な要因は、新規出店等に伴う有形固定資産の増加46億9百万円、敷金及び保証金並びに建設協力金の増加7億37百万円、現金及び預金の減少35億85百万円、商品の減少2億2百万円等によるものであります。

負債合計は476億87百万円となり、前連結会計年度末に比べて14億92百万円減少いたしました。この主な要因は、買掛金の増加7億31百万円、資産除去債務の増加11億96百万円、未払法人税等の減少14億61百万円、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の減少23億3百万円等によるものであります。

純資産は279億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて35億63百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金等の増加によるものであります。

##### (3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、第2四半期連結会計期間末に比べ28億59百万円減少し124億96百万円（前年同四半期比22.9%増）となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

###### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は2億48百万円（前年同四半期比91.0%減）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益24億77百万円、減価償却費6億17百万円、たな卸資産の増加3億57百万円、法人税等の支払額20億39百万円、仕入債務の減少13億58百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は18億25百万円(前年同四半期比89.8%増)となりました。主な要因は、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出15億42百万円、敷金及び保証金の差入並びに建設協力金の支払による支出3億70百万円、有形固定資産の譲渡による収入1億66百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は7億84百万円(前年同四半期比38.6%増)となりました。主な要因は、長期借入金の返済による支出6億77百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出1億7百万円等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結会計期間において、変更はありません。

### 第3 【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

計画中であった重要な設備の完了

当第3四半期連結会計期間において、第2四半期連結会計期間末に計画中であった重要な設備の新設について完了したものは、次のとおりであります。

提出会社

都道府県	設備の内容	帳簿価額(百万円)					完了年月	従業員数(名)
		建物及び構築物	土地(面積㎡)	敷金及び保証金並びに建設協力金	その他	合計		
山口県	店舗	193	( )	76	42	312	平成23年1月	6 (51)
香川県	店舗	232	( )	3	24	260	平成23年1月	3 (24)
愛媛県	店舗	134	( )	7	13	155	平成23年2月	3 (27)
福岡県	店舗	355	130 (2,990.55)	80	68	635	平成23年2月	11 (74)
佐賀県	店舗	170	( )	31	22	225	平成23年2月	4 (21)
熊本県	店舗	11	( )	126	29	167	平成23年2月	8 (41)
大分県	店舗	159	( )	7	24	191	平成22年12月	3 (25)
宮崎県	店舗	55	( )	18	21	94	平成22年12月	3 (23)
鹿児島県	店舗	149	( )	7	18	175	平成23年1月	3 (21)

(注) 1 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2 従業員数は就業人員であり、また従業員数の( )書は外数で、臨時雇用者の当第3四半期連結会計期間の平均雇用人員(1日8時間換算)であります。

重要な設備の新設の計画

当第3四半期連結会計期間において、新たに確定した重要な設備の新設、除却等の計画はありません。



## 第4 【提出会社の状況】

### 1 【株式等の状況】

#### (1) 【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	59,600,000
計	59,600,000

##### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年2月28日)	提出日現在 発行数(株) (平成23年4月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,000,400	20,000,400	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数100株
計	20,000,400	20,000,400		

#### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

#### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成22年12月1日～ 平成23年2月28日		20,000,400		4,178		4,610

(6) 【大株主の状況】

当第3四半期会計期間において、大株主の異動はありません。

フィデリティ投信株式会社及びその共同保有者であるエフエムアール エルエルシー（FMR LLC）から平成23年2月1日付（報告義務発生日 平成23年1月28日）で大量保有報告書（変更報告書）の写しの送付があり、以下の株式を保有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第3四半期会計期間末時点における実質所有株式数の確認ができておりません。

なお、大量保有報告書（変更報告書）の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
フィデリティ投信株式会社	東京都港区虎ノ門4丁目3番1号 城山トラストタワー	77	0.39
エフエムアール エルエルシー (FMR LLC)	82 Devonshire Street, Boston, Massachusetts 02109, USA	2,875	14.38
計		2,953	14.77

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年2月28日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 200,500		
完全議決権株式(その他)	普通株式 19,798,300	197,983	
単元未満株式	普通株式 1,600		1単元(100株)未満株式
発行済株式総数	20,000,400		
総株主の議決権		197,983	

(注) 単元未満株式欄の普通株式には、自己株式20株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年2月28日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社コスモス薬品	福岡市博多区博多駅東 二丁目10番1号 第一福岡ビルS館4階	200,500		200,500	1.00
計		200,500		200,500	1.00

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成22年 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平成23年 1月	2月
最高(円)	2,010	2,205	2,416	2,405	2,713	2,719	3,135	3,465	3,630
最低(円)	1,861	1,879	2,094	2,170	2,323	2,506	2,644	3,000	3,235

(注) 最高・最低株価は、東京証券取引所(市場第一部)におけるものであります。

3 【役員の様況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までにおいて、役員の異動はありません。

## 第5 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成22年2月28日まで)は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第3四半期連結会計期間(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年6月1日から平成23年2月28日まで)は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第3四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び前第3四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成22年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表並びに当第3四半期連結会計期間(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)及び当第3四半期連結累計期間(平成22年6月1日から平成23年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,496	16,081
売掛金	16	31
商品	19,005	19,207
貯蔵品	83	92
その他	2,937	2,531
流動資産合計	34,539	37,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,043	14,721
土地	4,509	4,066
その他(純額)	3,630	2,785
有形固定資産合計	26,183	21,573
無形固定資産		
	624	483
投資その他の資産		
敷金及び保証金	8,660	7,975
建設協力金	4,050	3,998
その他	1,600	1,612
投資その他の資産合計	14,311	13,586
固定資産合計	41,120	35,643
資産合計	75,660	73,589
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	32,367	31,636
1年内返済予定の長期借入金	2,390	2,825
未払法人税等	1,468	2,930
店舗閉鎖損失引当金	17	12
その他	4,631	4,345
流動負債合計	40,875	41,749
固定負債		
長期借入金	3,466	5,334
退職給付引当金	256	220
資産除去債務	1,196	-
その他	1,892	1,874
固定負債合計	6,811	7,430
負債合計	47,687	49,179

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	19,415	15,852
自己株式	234	234
株主資本合計	27,969	24,406
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3	2
評価・換算差額等合計	3	2
純資産合計	27,972	24,409
負債純資産合計	75,660	73,589

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
売上高	151,545	173,709
売上原価	121,550	140,533
売上総利益	29,994	33,176
販売費及び一般管理費	24,132	25,987
営業利益	5,862	7,188
営業外収益		
受取利息	77	81
受取手数料	218	262
不動産賃貸料	239	272
固定資産受贈益	148	69
その他	266	295
営業外収益合計	949	982
営業外費用		
支払利息	105	89
不動産賃貸原価	101	104
その他	18	43
営業外費用合計	225	238
経常利益	6,586	7,932
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	8	6
店舗閉鎖損失引当金繰入額	10	5
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	424
特別損失合計	19	436
税金等調整前四半期純利益	6,567	7,496
法人税等	2,972	3,478
少数株主損益調整前四半期純利益	-	4,018
四半期純利益	3,594	4,018

【第3四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
売上高	49,733	58,187
売上原価	40,336	47,232
売上総利益	9,396	10,954
販売費及び一般管理費	7,983	8,703
営業利益	1,413	2,250
営業外収益		
受取利息	26	27
受取手数料	71	83
不動産賃貸料	81	93
固定資産受贈益	91	18
その他	98	90
営業外収益合計	369	314
営業外費用		
支払利息	36	27
不動産賃貸原価	33	35
その他	1	22
営業外費用合計	72	85
経常利益	1,710	2,478
特別損失		
固定資産除却損	4	1
特別損失合計	4	1
税金等調整前四半期純利益	1,705	2,477
法人税等	778	1,156
少数株主損益調整前四半期純利益	-	1,320
四半期純利益	927	1,320



## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,567	7,496
減価償却費	1,347	1,676
退職給付引当金の増減額(は減少)	27	35
店舗閉鎖損失引当金の増減額(は減少)	5	5
受取利息及び受取配当金	77	82
支払利息	105	89
固定資産売却損益(は益)	0	0
固定資産除却損	8	6
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	424
売上債権の増減額(は増加)	15	14
たな卸資産の増減額(は増加)	3,546	210
仕入債務の増減額(は減少)	1,293	731
その他	407	346
小計	2,742	10,263
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	105	90
法人税等の支払額	2,845	4,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	205	5,317
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,742	5,172
有形固定資産の譲渡による収入	308	517
建設協力金の支払による支出	294	263
建設協力金の回収による収入	219	235
敷金及び保証金の差入による支出	650	871
敷金及び保証金の回収による収入	50	60
その他	174	349
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,282	5,842
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,000	-
長期借入金の返済による支出	2,026	2,303
ファイナンス・リース債務の返済による支出	223	301
自己株式の取得による支出	0	0
配当金の支払額	297	455
財務活動によるキャッシュ・フロー	546	3,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	4,034	3,585
現金及び現金同等物の期首残高	14,201	16,081
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,166	12,496

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
会計処理基準に関する事項の変更	資産除去債務に関する会計基準の適用 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ79百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は504百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は1,042百万円であります。

【表示方法の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)
(四半期連結損益計算書関係)	「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結会計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
(税金費用の計算)	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)		前連結会計年度末 (平成22年5月31日)	
固定資産の減価償却累計額		固定資産の減価償却累計額	
有形固定資産の減価償却累計額	8,363百万円	有形固定資産の減価償却累計額	6,607百万円

(四半期連結損益計算書関係)

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。		販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	
給料及び賞与	10,161百万円	給料及び賞与	10,499百万円
退職給付費用	40百万円	退職給付費用	43百万円
地代家賃	4,804百万円	地代家賃	5,193百万円

第3四半期連結会計期間

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結会計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年2月28日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。		販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。	
給料及び賞与	3,189百万円	給料及び賞与	3,397百万円
退職給付費用	13百万円	退職給付費用	14百万円
地代家賃	1,629百万円	地代家賃	1,772百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)	
現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年2月28日現在)		現金及び現金同等物の当第3四半期連結累計期間末残高と当第3四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年2月28日現在)	
現金及び預金勘定	10,166百万円	現金及び預金勘定	12,496百万円
預入期間が3か月を超える預金等	百万円	預入期間が3か月を超える預金等	百万円
現金及び現金同等物	10,166百万円	現金及び現金同等物	12,496百万円

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成23年2月28日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)

1. 発行済株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	20,000,400

2. 自己株式に関する事項

株式の種類	当第3四半期 連結会計期間末
普通株式(株)	200,520

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年8月30日 定時株主総会	普通株式	455	23.00	平成22年5月31日	平成22年8月31日	利益剰余金

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

5. 株主資本の著しい変動

特記すべき株主資本の金額の著しい変動はありません。

(セグメント情報等)

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)  
当社グループは単一事業を営んでいるため、該当事項はありません。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)  
当社グループは在外子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自平成21年12月1日至平成22年2月28日)及び前第3四半期連結累計期間(自平成21年6月1日至平成22年2月28日)  
当社グループは海外売上高がないため、該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成22年6月1日至平成23年2月28日)及び当第3四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

当社グループは、医薬品・化粧品等の小売業という単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末 (平成22年5月31日)
1株当たり純資産額 1,412円78銭	1株当たり純資産額 1,232円78銭

(注) 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期 連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末 (平成22年5月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	27,972	24,409
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)		
普通株式に係る四半期連結会計期間末(連結会計年度末)の純資産額(百万円)	27,972	24,409
1株当たり純資産額の算定に用いられた四半期連結会計期間末(連結会計年度末)の普通株式の数(株)	19,799,880	19,800,037

2. 1株当たり四半期純利益金額等

第3四半期連結累計期間

前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 181円55銭	1株当たり四半期純利益金額 202円97銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年6月1日 至平成22年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年6月1日 至平成23年2月28日)
四半期純利益金額(百万円)	3,594	4,018
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	3,594	4,018
普通株式の期中平均株式数(株)	19,800,099	19,799,983

第3 四半期連結会計期間

前第3 四半期連結会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)	当第3 四半期連結会計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)
1株当たり四半期純利益金額 46円84銭	1株当たり四半期純利益金額 66円70銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

2 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3 四半期連結会計期間 (自 平成21年12月1日 至 平成22年2月28日)	当第3 四半期連結会計期間 (自 平成22年12月1日 至 平成23年2月28日)
四半期純利益金額(百万円)	927	1,320
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	927	1,320
普通株式の期中平均株式数(株)	19,800,089	19,799,935

2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。



## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成22年4月9日

株式会社コスモス薬品  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青	野	弘	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	馬	場	正	宏	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コスモス薬品の平成21年6月1日から平成22年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成21年12月1日から平成22年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成21年6月1日から平成22年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コスモス薬品社及び連結子会社の平成22年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年4月12日

株式会社コスモス薬品  
取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	青	野	弘	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	馬	場	正	宏	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	寺	田	篤	芳	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コスモス薬品の平成22年6月1日から平成23年5月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成22年12月1日から平成23年2月28日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成22年6月1日から平成23年2月28日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コスモス薬品及び連結子会社の平成23年2月28日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。